

東日本大震災復興支援 第45回全国ミニバスケットボール大会に出場して  
柳井バスケットボールスポーツ少年団  
#4 河村 勇輝

柳井ミニバスは、16年ぶりに全国大会へ出場することができました。まずは、予選リーグで2勝して決勝トーナメントへ進むことを目標にしました。

1回戦の長尾南（兵庫）は、プレスディフェンスがうまく、1Qは2-8で負けるなど苦しいスタートでした。2Qから柳井本来のリズムを取り戻し、速攻やカットインなどで着実に点を取り、48-25で勝つことができました。

2回戦目は長松（佐賀）でしたが、8月のオール関西で接戦をしていたので、今回も苦戦を予想していました。予想通り、1Qは11点差をつけられ、その後も常に相手がリードする苦しい展開となりましたが、あきらめずにしぶといディフェンスを続けました。4Qの後半にやっと追いつき、同点のまま延長戦となりました。延長では、最初に2本連続柳井が点をとって勢いに乗り、42-40で勝つことができました。予選リーグで2勝して、第一目標の決勝トーナメント出場を果たすことができたのでうれしかったです。

3回戦の磯部（福井）は身長が高くプレッシャーをかけられたので柳井のシュート率がすごく悪くなり、なかなか本来のリズムに乗れませんでした。しかし、2回戦で延長で勝った勢いや自信があったので、絶対に負けないとの強い気持ちで戦いました。徐々に柳井のペースになり、32-25で勝つことができました。

決勝戦は、これまで2連敗をしている古江（島根）との対戦となりました。得点されてもすぐに入れ返すオフェンス力のあるねばり強いチームで、オール関西の3位決定戦では5点差で負けました。しかし、今回は2Qから主導権を握り、前半を6点リードで折り返しました。4Q後半に同点に追いつかれましたが、その直後にバスケットカウントを取り、その点を守り切って、37-36で勝つことができました。試合終了のホイッスルが鳴って優勝が決まった瞬間、夢を見ているようでした。平均身長148センチのとても小さなチームでも努力すれば全国制覇することがわかって本当にうれしかったです。

個人的には、全国大会へ向けて一日1000本のシュートを打ちました。そのおかげでここぞという時には必ずシュートが入りました。努力の大切さを学びました。

コーチや保護者、また、声援を送って下さった地元山口の皆さんのおかげで、山口県男子チームの初優勝を勝ち取ることができたと思います。本当にありがとうございました。



大会を準備・運営してくださった皆様、対戦してくださったチーム関係者の皆様、応援・観戦してくださった皆様、審判をしてくださった皆様、たくさんの方々に支えられて、素晴らしい経験をさせていただいたことに感謝しております。ありがとうございました。

子どもたちと目標を「決勝トーナメント進出」と掲げ、今大会へ臨みました。子どもたちは全国大会という大きな舞台で、小柄ながらも冷静に普段通りの力を発揮してくれました。粘り強いディフェンスからのブレイクとミドルシュートを武器に柳井らしい戦いができました。山口県男子で初優勝という快挙に、今も実感がなく、まさに夢の舞台でした。素晴らしい結果を残してくれた子どもたちに感謝しています。

このような機会を与えてくださった皆様に重ね重ね御礼申し上げます。ありがとうございました。

柳井バスケットボールスポーツ少年団

